

2020年8月3日

世論調査（JNN）、論評

## JNN世論調査、内閣支持率35.4%で最低を記録

2020年8月3日 2時58分

最新のJNNの世論調査で、安倍内閣の支持率は35.4%と最低を記録しました。また、「GoToトラベル」キャンペーンについて聞いたところ、「使いたいと思わない」と答えた人が77%にのびりました。

安倍内閣を支持できるという人は、先月の調査結果より2.8ポイント減って35.4%でした。一方、支持できないという人は2.4ポイント増加し、62.2%でした。

JNNでは2018年10月に調査方法を変更したため単純に比較はできませんが、先月に続いて第二次安倍政権発足後、最低の支持率を記録、不支持率が6割を超えたのも初めてです。

新型コロナウイルスの感染防止に向けた政府のこれまでの取り組みについて、「評価する」は26%と、今年2月以降で最低の数字となりました。

中でも、政府が先月22日から東京発着の旅行を対象外としてスタートさせた「GoToトラベル」キャンペーンの是非について聞きました。「評価する」が25%だったのに対し、「評価しない」は66%、キャンペーンを使いたいと思うかについては、「使いたい」は19%にとどまり、「使いたいと思わない」が77%に達しました。

感染者の増加を受けて政府が緊急事態宣言を再び出すべきか聞いたところ、「出すべきだ」は61%、コロナ対応などを話し合うため早期に臨時国会を「開くべき」との声は8割に達しています。

自民党の議員連盟は、動画投稿アプリ「TikTok」など中国企業が提供するアプリについて規制を求める提言を政府に提出する方向です。規制への賛否をたずねたところ、「賛成」が63%、「反対」は17%でした。

敵からミサイルなどによる攻撃を受ける前に敵の基地を攻撃する「敵基地攻撃能力」について、「保有すべきだ」と「保有すべきでない」との声は、それぞれ43%、41%と拮抗しています。

## JNN8月世論調査詳報

2020年8月定例世論調査（8月3日7時58分配信）

※（ ）内及び差は前回調査（2020年7月4、5日）との比較

### 内閣・政党支持率

#### 安倍内閣を支持しますか？

安倍内閣についてどう思いますか。次の4つの中から1つを選んでください

- 非常に支持できる 3.2% (-1.6%)
- ある程度支持できる 32.3 (-1.1)
- あまり支持できない 41.4 (-1.1)
- まったく支持できない 20.8 (+3.5)
- 答えない・わからない 2.4 (+0.4)

#### 支持する理由は？

「支持できる」とした理由を、次の5つから1つだけ選んでください

- 安倍総理に期待できる 13.8% (-5.3%)
- 閣僚の顔ぶれがよい 4.4 (+0.3)
- 政策に期待できる 7.8 (-1.9)
- 自民党を中心とした内閣だから 33.0 (+1.9)
- 特に理由はない 36.7 (+3.4)
- 答えない・わからない 4.3 (+1.6)

#### 不支持の理由は？

「支持できない」とした理由を、次の5つから1つだけ選んでください。

- 安倍総理に期待できない 24.5% (-5.9%)
- 閣僚の顔ぶれが良くない 7.2 (-3.3)
- 政策に期待できない 41.6 (+8.1)
- 自民党を中心とした内閣だから 13.5 (-1.8)
- 特に理由はない 9.2 (+0.5)
- 答えない・わからない 3.9 (+2.2)

#### どの政党を支持しますか？

あなたは現在どの政党を支持していますか。1つだけあげてください。

- 自民党 32.0% (-3.8%)
- 立憲民主党 4.5 (-0.6)
- 公明党 3.1 (-0.4)
- 日本共産党 3.5 (+1.1)
- 国民民主党 1.0 (+0.4)
- 日本維新の会 2.4 (-1.1)
- 社会民主党 0.4 (-0.1)
- れいわ新選組 0.6 (-0.1)
- NHKから国民を守る党 0.2 (-0.2)
- それ以外の政党を支持 0.2 (-0.8)
- 支持する政党はない 47.5 (+4.6)
- 答えない・わからない 4.7 (+1.1)

### 新型コロナウイルスについて

#### 政府の対応を評価する？

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大しています。あなたは感染防止に向けた政府のこれまでの対応を評価しますか？評価しませんか？

- 評価する 26% (-20%)
- 評価しない 61 (+17)
- 答えない・わからない 13 (+2)

#### GoToトラベルを評価する？

政府は観光振興策「GoToトラベル」キャンペーンが東京発着の旅行を対象から外した形で先月22日からスタートしました。あなたはこれを評価しますか？評価しませんか？

- 評価する 25%
- 評価しない 66
- 答えない・わからない 9

#### GoToトラベルを使いたい？

あなたはGoToトラベルキャンペーンを使いたいと思いますか？思いませんか？

- 使いたいと思う 19%
- 使いたいと思わない 77
- 答えない・わからない 4

#### 再度の緊急事態宣言について？

感染者数の増加を受けて、あなたは政府が緊急事態宣言を再び出すべきだと思いますか？その必要はないと思いますか？

- 出すべきだ 61%
- 出す必要はない 26
- 答えない・わからない 13

#### 臨時国会を早期に開くべき？

あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大への対応などを話し合うために臨時国会を早期に開くべきだと思いますか？その必要はないと思いますか？

- 早期に開くべき 80%
- 早期に開く必要はない 14
- 答えない・わからない 6

#### 東京オリ・パラについて？

##### 東京オリンピック・パラリンピックの開催について？

東京オリンピック・パラリンピックについてあなたはどうすべきだと思いますか？

次の3つの中から1つだけ選んでください。

- 予定どおり来年7月に開催すべきだ 20%
- さらに延期すべきだ 39
- 中止にすべきだ 33
- 答えない・わからない 8

#### 中国企業提供のアプリについて

##### アプリの規制について？

動画投稿アプリ TikTok など中国企業が提供するアプリについて、利用者の個人情報为中国政府に渡る恐れがあるなどとして、自民党の議員連盟が規制を求める提言を政府に提出する方向となりました。

あなたは規制に賛成ですか？反対ですか？

- 賛成 63%
- 反対 17
- 答えない・わからない 20

#### 「敵基地攻撃能力」について

##### 敵基地攻撃能力を保有すべき？

政府・与党内では、敵からミサイルなどによる攻撃を受ける前に敵の基地を攻撃する「敵基地攻撃能力」を保有すべきかどうか議論が進められています。

あなたは、こうした能力を保有すべきだと思いますか？その必要はないと思いますか？

- 保有すべきだ 43%
- 保有する必要はない 41
- 答えない・わからない 16

#### 衆院の解散総選挙について

##### 解散・総選挙はいつおこなうのがよい？

現在の衆議院議員の任期は来年10月までです。衆議院の解散・総選挙についてあなたはいつ行うのがよいと思いますか？

次の4つの中から1つだけ選んで下さい。

- 今年中 14% (-6 票)
- 来年前半 18 (-1)
- 来年後半 14 (±0)
- 任期満了まで行う必要はない 45 (+7)
- 答えない・わからない 9 (±0)

#### ポスト安倍について

##### 次の自民党総裁にふさわしいのは？

安倍総理の自民党総裁としての任期は2021年の9月までです。

あなたは、次の自民党総裁に誰がふさわしいと思いますか。

次の8人の中から1人だけえらんで下さい。

- 安倍晋三 12% (-2 票)
- 石破茂 28 (-5)
- 加藤義信 0 (-1)
- 岸田文雄 4 (-1)
- 小泉新次郎 14 (+2)
- 河野太郎 10 (±0)
- 菅義偉 4 (±0)
- 茂木敏充 2 (+1)
- それ以外 1 (+1)
- 答えない・わからない 27 (+6)

調査方法 2020年8月1、2日定期調査 全国18歳以上の男女を対象にしたRDD方式電話調査

2224人(固定電話956、携帯電話1268) 有効回答1245(56.0%)  
(固定電話628(65.7%)、携帯電話617(48.7%))

#### 内閣支持率、「岩盤支持層」だった30代も低下 背景は

朝日新聞デジタル世論調査部・磯部佳孝 2020年8月3日17時00分



首相官邸に入る安倍晋三首相=2020年7月29

日午後、岩下毅撮影

第2次安倍政権が発足した2012年12月以降、朝日新聞社が今年7月まで実施した計111回の全国世論調査(電話)を分析すると、年代による特徴が浮かんでくる。

16年途中から調査対象などが変わったため単純比較はできないが、年平均で算出した年代別の内閣支持率を見ると、30代以下は一時的に支持が離れてもやがて戻る「岩盤支持層」だったことが分かる。

集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法が成立した15年は、すべての年代で支持率が下がった。ただ変動幅に差があり、40代以上で支持率と不支持率がほぼ並んだのとは異なり、30代以下では支持率が不支持率を大きく上回った。

消費増税を再延期した16年にすべての年代で支持率が戻った後、森友・加計問題が発覚した17年、30代以下と40代以上で

は再び対照的な動きを示した。40代以上の支持率は低下し、支持率41%と不支持率40%でほぼ並んだ。一方で18～29歳の支持率は上がり、30代の支持率は16年から横ばいだった。

さらに、財務省による公文書改ざんが発覚した18年の支持率は、40代以上では36%に下がったが、18～29歳は48%、30代は45%と高止まりした。



年平均でなく個別の調査で見ても、その傾向ははっきりしている。

公文書改ざん発覚直後の18年3月の調査で、全体の支持率は第2次政権下で当時としては最低の31%を記録。40代以上で不支持率が支持率を大きく上回る一方、18～29歳は支持率34%が不支持率29%を上回り、30代は支持率37%と不支持率39%がほぼ並んだ。

同じ調査で、改ざんをどの程度問題と思うかを四者択一で尋ねると「大いに」「ある程度」を合わせた「問題だ」が40代以上で9割前後だったのに対し、18～29歳と30代はいずれも8割弱とやや低かった。ほかにも安全保障関連法や「桜を見る会」など安倍政権の政策や姿勢への評価について、40代以上と30代以下の間にこうした差がたびたび生じている。

全体の支持率を押し下げる要因に

ところが、新型コロナウイルスの感染拡大が、この構造に変化をもたらしつつある。

ここから続き

18～29歳と30代のうち、特に30代が支持離れの兆しを見せている。今年1～7月の30代の平均支持率は38%。第2次政権発足以降の各年の同時期と比べると、最も低い水準となった。

今年5月の調査では、全体の内閣支持率が29%と第2次政権下で最低を記録した。30代の不支持率は45%で、支持率27%を大きく上回り、全体の支持率を押し下げる要因となった。

背景には政府への厳しい視線があるようだ。新型コロナへの政府対応の評価を尋ねた今年2～7月の調査を分析すると、30代の「評価しない」は55%（2～7月の平均値）に対し、「評価する」は35%（同）。30代の「評価しない」は、40代と60代の55%（同）と並んで高い水準にある。

30代は子育て・働き盛り世代だ。新型コロナの生活への影響に敏感な世代とも言える。3～7月の調査で、生活が苦しくなる不安を「感じる」は30代で57%（3～7月の平均値）。50代の60%（同）、40代の59%（同）に次いで高かった。

7月の全体の内閣支持率は33%、不支持率は50%。低空飛行が続く支持率の行方は今後も政権のコロナ対応にかかっているといえそうだ。

「解散の条件」にも影響

安倍晋三首相の自民党総裁任期は来秋までだ。政界の関心は「ポスト安倍」レースに集まっている。後継者争いを占う上で、長期政権だった佐藤栄作内閣（1964年～72年、在職2798日）と小泉純一郎内閣（2001～06年、在職1980日）の残り1年余りの動きは示唆に富む。

佐藤氏は70年に党総裁4選を果たしたが、有権者に長期政権への「飽き」が広がり、71年に支持率が急落。72年7月、後継を指名できずに退陣した。一方、小泉氏は05年1月の支持率は33%だったが、同年9月に「郵政解散」で圧勝。支持率を回復させた小泉氏は求心力を保ったまま、安倍氏を事実上の後継に推して06年9月に退陣した。

安倍首相が後継選を主導できるかどうかは、衆院解散へのシナリオをどう描くかにも関わってくる。

いまの選挙制度となった96年以降の8回の衆院選について、解散直前の内閣支持率と政党（与党第1党）支持率をみると、政権を維持するための「解散の条件」がはじき出される。

内閣支持率と政党支持率の合計が50を切ると政権運営が厳しくなる。これは青木幹雄元自民党参院幹事長が提唱した「青木の法則」だ。解散直前の数字を当てはめると、合計が50に満たなかった自民党の森喜朗氏と麻生太郎氏、民主党（当時）の野田佳彦氏の3内閣は議席を大きく減らし、いずれも短命に終わった。

もう一つ考慮が必要な要因は、野党第1党の政党支持率だ。

「マニフェスト選挙」となった03年衆院選は民主党への期待が高まり、解散直前に13%だった民主党支持率は投開票日直前に18%まで上昇。内閣支持率と自民党支持率の合計は90だったものの、自民党は苦戦した。一方、14年、17年の衆院選はそれぞれ71、67だったが、野党第1党の支持率が1ケタということも重なって自民党が大勝した。

7月の調査で、内閣支持率33%と自民支持率30%の合計は63。野党第1党の立憲民主党支持率は5%。数字は自民勝利の条件を満たすようにもみえる。とはいえ新型コロナをめぐる情勢や野党再編の動きも考えれば、解散をめぐる判断は簡単ではなさそうだ。（世論調査部・磯部佳孝）